

2025年10月～12月期中小企業景況調査結果

中小企業の景況感、緩やかな改善が続く

-業況判断、売上、採算の各D. I. 共に前期実績を上回る -

◇調査結果の概要

今期は、業況判断、売上、採算の各D. I. で前期実績を上回った。

来期は、業況判断D. I. で前期実績を上回り、売上、採算の各D. I. で前期実績を下回る見通し（全産業平均）。

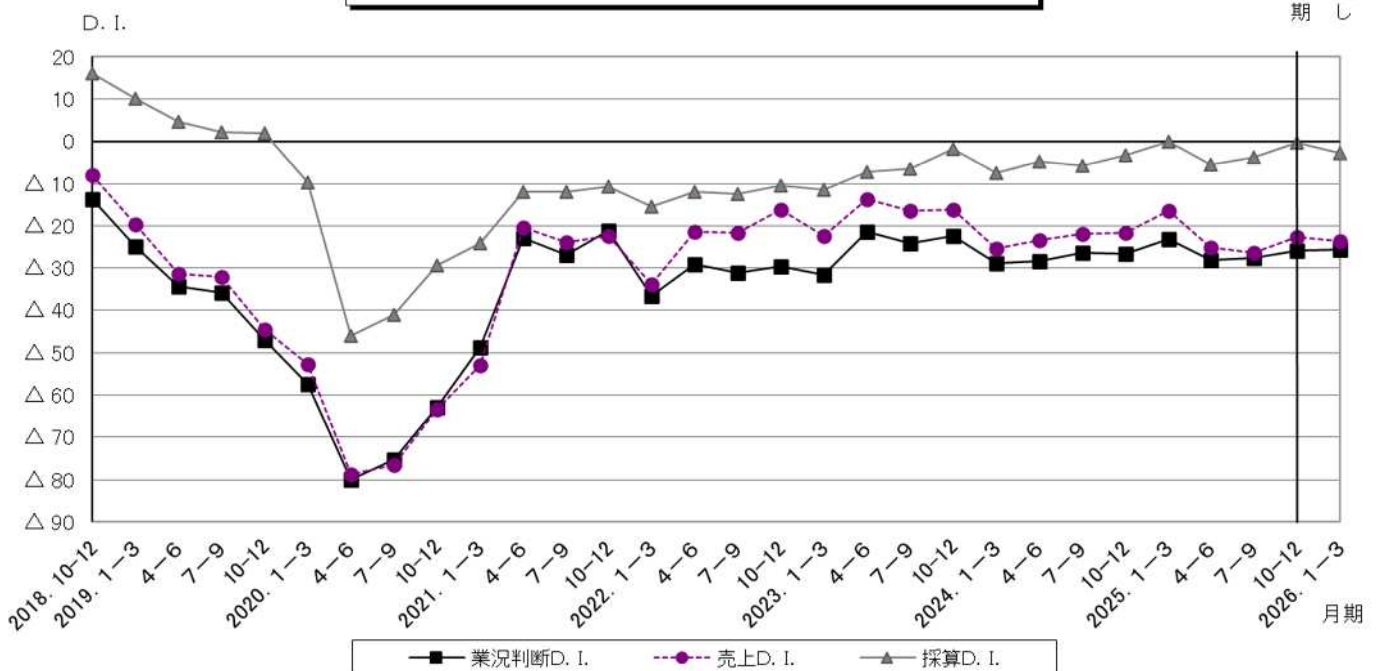
指標別の状況（全産業平均）

- 業況判断D. I. は、前期実績 $\Delta 27.7$ から $\Delta 25.9$ (1.8 ポイント増)となり、来期は $\Delta 25.5$ (0.4 ポイント増)となる見通し。
- 売上D. I. は、前期実績 $\Delta 26.3$ から $\Delta 22.7$ (3.6 ポイント増)となり、来期は $\Delta 23.6$ (0.9 ポイント減)となる見通し。
- 採算D. I. は、前期実績 $\Delta 3.8$ から $\Delta 0.3$ (3.5 ポイント増)となり、来期は $\Delta 2.7$ (2.4 ポイント減)となる見通し。

産業別の状況

- 製造業では、業況判断、売上、採算の各D. I. で前期実績を上回った。
- 卸・小売業では、売上、採算の各D. I. で上回り、業況判断D. I. で前期実績を下回った。
- 建設業では、業況判断、売上、採算の各D. I. で前期実績を上回った。
- サービス業では、業況判断、売上の各D. I. で前期実績を上回り、採算D. I. で前期実績を下回った。

業況判断・売上・採算D. I. の推移(全産業平均)



調査時期:2025年12月1日から12月10日まで
調査対象:中小企業 2,000 社 (回答社数 1,061 社 回答率 53.1%)

業況判断D. I. の推移

業種	2024年10-12月期	2025年1-3月期	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期（今期）	2026年1-3月期（来期）
全 産 業	△ 26.6 (△ 19.9)	△ 23.2 (△ 25.9)	△ 28.2 (△ 21.8)	△ 27.7 (△ 27.8)	↗ △ 25.9 (△ 27.5)	↗ △ 25.5
製造業	△ 27.6 (△ 18.8)	△ 20.3 (△ 23.7)	△ 26.1 (△ 19.8)	△ 26.9 (△ 25.9)	↗ △ 24.3 (△ 25.8)	↘ △ 25.2
卸・小売業	△ 35.3 (△ 27.7)	△ 33.8 (△ 34.5)	△ 39.5 (△ 31.3)	△ 39.1 (△ 36.8)	↘ △ 40.1 (△ 37.8)	↗ △ 32.4
建設業	△ 11.9 (△ 10.9)	△ 32.7 (△ 28.3)	△ 20.3 (△ 23.1)	△ 13.3 (△ 20.3)	↗ △ 12.3 (△ 20.0)	↘ △ 21.5
サービス業	△ 8.4 (△ 12.9)	△ 10.6 (△ 17.9)	△ 18.3 (△ 10.6)	△ 13.9 (△ 22.1)	↗ △ 9.7 (△ 17.8)	↘ △ 12.6

（ ）内は1期前における当期見通し

売上D. I. の推移

業種	2024年10-12月期	2025年1-3月期	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期（今期）	2026年1-3月期（来期）
全 産 業	△ 21.7 (△ 18.5)	△ 16.4 (△ 22.1)	△ 25.2 (△ 17.5)	△ 26.3 (△ 23.9)	↗ △ 22.7 (△ 23.2)	↘ △ 23.6
製造業	△ 23.6 (△ 18.0)	△ 14.2 (△ 21.7)	△ 25.3 (△ 16.9)	△ 26.3 (△ 22.9)	↗ △ 22.0 (△ 22.5)	↘ △ 23.6
卸・小売業	△ 24.1 (△ 26.6)	△ 23.8 (△ 24.7)	△ 30.3 (△ 22.6)	△ 33.3 (△ 30.7)	↗ △ 32.2 (△ 31.7)	↗ △ 29.6
建設業	△ 18.3 (△ 10.9)	△ 21.2 (△ 21.7)	△ 25.0 (△ 19.2)	△ 18.3 (△ 17.2)	↗ △ 10.8 (△ 18.3)	↘ △ 16.9
サービス業	△ 5.3 (△ 5.9)	△ 9.6 (△ 18.9)	△ 12.5 (△ 7.4)	△ 13.9 (△ 18.3)	↗ △ 10.7 (△ 9.9)	↘ △ 12.6

（ ）内は1期前における当期見通し

採算D. I. の推移

業種	2024年10-12月期	2025年1-3月期	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期（今期）	2026年1-3月期（来期）
全 産 業	△ 3.3 (△ 1.7)	△ 0.1 (△ 3.7)	△ 5.6 (0.0)	△ 3.8 (△ 5.6)	↗ △ 0.3 (△ 4.5)	↘ △ 2.7
製造業	△ 4.9 (△ 3.7)	0.2 (△ 5.4)	△ 6.7 (△ 0.7)	△ 3.9 (△ 8.5)	↗ 0.0 (△ 5.9)	↘ △ 4.7
卸・小売業	△ 10.3 (△ 10.9)	△ 6.1 (△ 8.1)	△ 8.4 (△ 5.2)	△ 9.2 (△ 6.9)	↗ △ 6.2 (△ 10.0)	↘ △ 7.0
建設業	23.7 (23.8)	15.4 (6.8)	15.6 (11.5)	△ 1.7 (18.8)	↗ 20.0 (8.3)	↘ 15.4
サービス業	6.3 (18.8)	4.3 (9.6)	△ 3.8 (10.8)	9.0 (2.0)	↘ 0.0 (11.1)	↗ 8.7

（ ）内は1期前における当期見通し

設備投資実施率の推移

業種	2024年10-12月期	2025年1-3月期	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期（今期）	2026年1-3月期（来期）
全 産 業	27.5% (25.2%)	26.0% (26.9%)	24.8% (27.4%)	25.1% (26.1%)	↗ 27.2% (26.2%)	↘ 25.5%
製造業	29.9% (29.8%)	28.1% (30.3%)	26.8% (30.1%)	28.3% (28.9%)	↗ 30.1% (30.3%)	↘ 28.9%
卸・小売業	21.1% (15.7%)	21.0% (17.9%)	16.9% (20.9%)	16.9% (18.4%)	↗ 19.9% (16.7%)	↘ 18.5%
建設業	30.5% (25.0%)	26.9% (25.0%)	31.3% (23.1%)	30.5% (26.6%)	↗ 30.8% (23.7%)	↘ 21.5%
サービス業	25.3% (18.6%)	24.5% (27.4%)	28.2% (28.3%)	21.8% (26.7%)	↗ 25.2% (23.5%)	↘ 24.5%

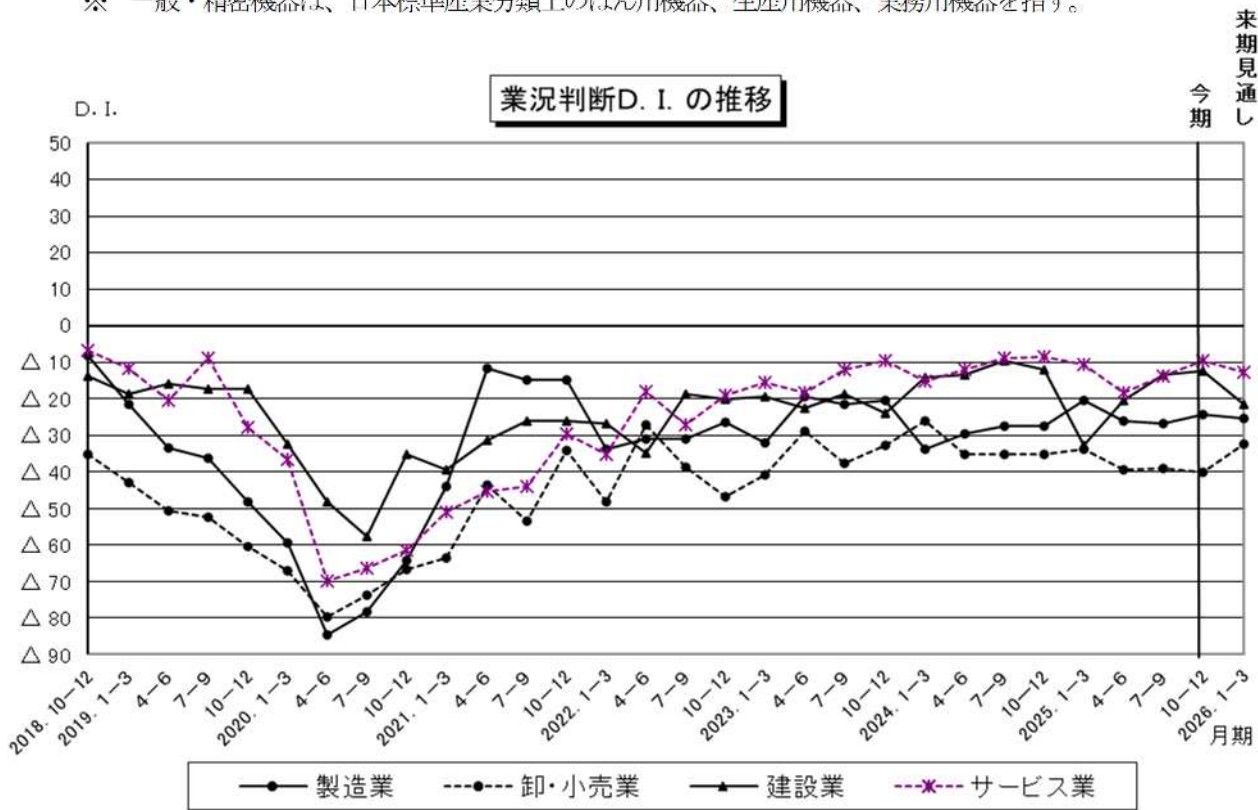
（ ）内は1期前における当期見通し

今期（2025年10月～12月期）の実績

1 業況判断D. I.

業種	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6	2025 7-9	2025 10-12(今期)	2026 1-3(来期)
全産業	△ 26.6	△ 23.2	△ 28.2	△ 27.7	↗ △ 25.9	↗ △ 25.5
製造業	△ 27.6	△ 20.3	△ 26.1	△ 26.9	↗ △ 24.3	↘ △ 25.2
食料品	△ 3.6	△ 22.4	8.3	△ 7.0	↗ 11.5	↘ △ 3.8
繊維工業	△ 32.2	△ 33.3	△ 32.8	△ 37.7	↘ △ 44.4	↗ △ 33.3
木材・木製品	△ 44.4	△ 22.2	△ 28.6	△ 25.6	↘ △ 33.3	↗ △ 16.7
家具・装備品	△ 33.3	△ 27.3	△ 50.0	△ 27.3	↘ △ 60.0	→ △ 60.0
紙・加工品	△ 40.6	△ 24.0	△ 35.3	△ 26.7	↗ △ 13.8	↘ △ 27.6
印刷	△ 42.3	△ 41.7	△ 47.8	△ 52.2	↗ △ 46.2	↗ △ 38.5
化学・ゴム	△ 17.4	△ 8.3	△ 13.6	△ 21.3	↗ △ 14.3	→ △ 14.3
窯業・土石	△ 31.3	△ 24.4	△ 29.4	△ 26.0	↘ △ 28.3	↗ △ 26.1
鉄鋼・非鉄	△ 55.6	△ 40.0	△ 37.1	△ 56.8	↗ △ 31.7	↘ △ 41.5
金属製品	△ 28.3	△ 20.7	△ 37.8	△ 28.9	↗ △ 23.7	↘ △ 29.7
一般・精密機器	△ 18.2	0.0	△ 18.4	△ 19.2	↘ △ 24.0	↗ △ 22.0
電気機器	△ 24.2	△ 46.4	△ 36.6	△ 35.7	↗ △ 35.0	↗ △ 20.0
輸送機器	△ 21.4	2.7	△ 14.3	△ 11.7	↘ △ 13.0	↘ △ 20.3
卸・小売業	△ 35.3	△ 33.8	△ 39.5	△ 39.1	↘ △ 40.1	↗ △ 32.4
卸売業	△ 33.1	△ 33.6	△ 32.9	△ 38.5	↗ △ 30.2	↗ △ 23.5
小売業	△ 38.1	△ 34.0	△ 48.2	△ 40.0	↘ △ 53.7	↗ △ 44.9
建設業	△ 11.9	△ 32.7	△ 20.3	△ 13.3	↗ △ 12.3	↘ △ 21.5
建築業	△ 18.8	△ 37.9	△ 39.5	△ 22.2	↗ △ 8.3	↘ △ 22.2
土木業	△ 3.7	△ 26.1	7.7	0.0	↘ △ 17.2	↘ △ 20.7
サービス業	△ 8.4	△ 10.6	△ 18.3	△ 13.9	↗ △ 9.7	↘ △ 12.6
物品賃貸業	△ 16.2	△ 21.9	△ 23.8	△ 14.3	↗ △ 10.8	↗ △ 2.7
情報サービス業	△ 4.4	0.0	△ 15.4	△ 20.0	↗ △ 13.0	↘ △ 16.7
広告業	0.0	△ 21.4	△ 10.0	18.2	↘ 8.3	↘ △ 25.0

※ 業況判断D. I.は、前年同期と比べて総合的な景況判断が「好転」したとする企業割合から「悪化」したとする企業割合を差し引いた値。
※ 一般・精密機器は、日本標準産業分類上のはん用機器、生産用機器、業務用機器を指す。

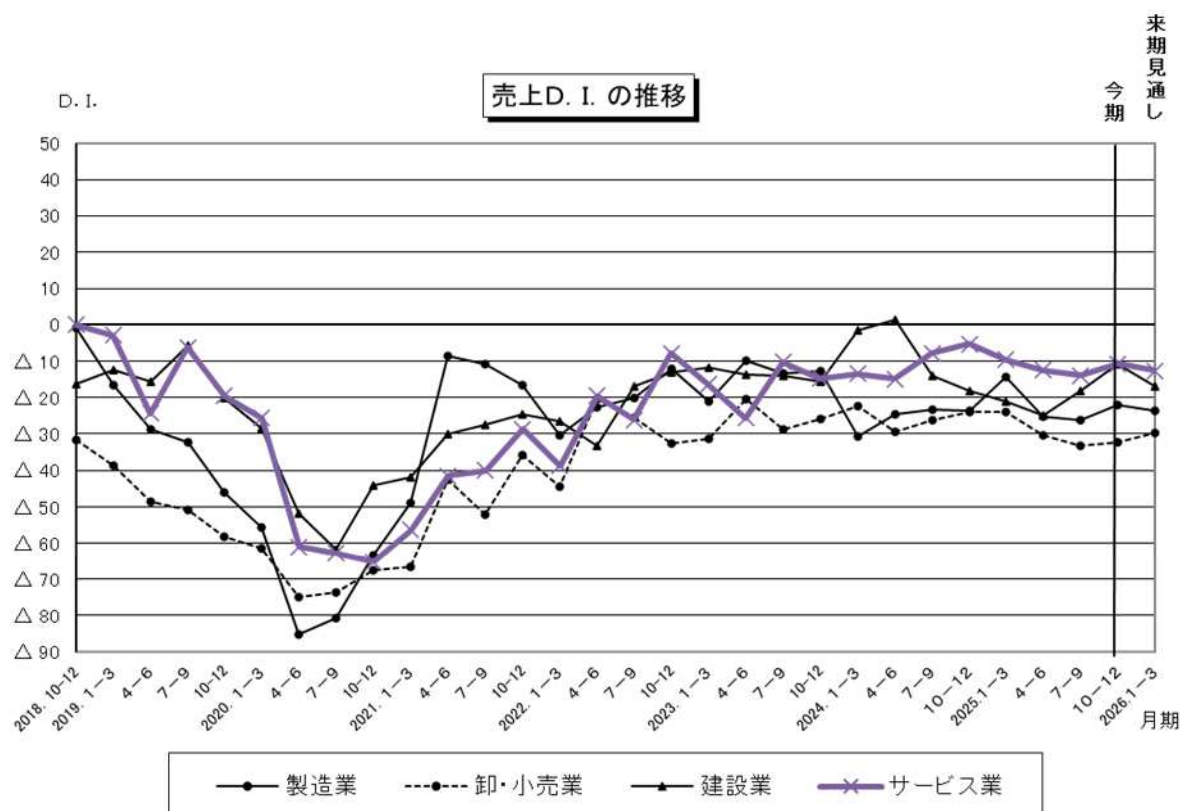


2 売上D. I.

業種	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6	2025 7-9	2025 10-12(今期)	2026 1-3(来期)
全産業	△ 21.7	△ 16.4	△ 25.2	△ 26.3	↗ △ 22.7	↘ △ 23.6
製造業	△ 23.6	△ 14.2	△ 25.3	△ 26.3	↗ △ 22.0	↘ △ 23.6
食料品	16.4	△ 6.9	8.3	△ 8.8	↗ 7.7	→ 7.7
繊維工業	△ 30.5	△ 31.6	△ 35.8	△ 39.1	↘ △ 41.3	↗ △ 36.5
木材・木製品	△ 50.0	△ 13.9	△ 28.6	△ 23.1	↘ △ 33.3	↗ △ 26.7
家具・装備品	△ 25.0	△ 45.5	△ 41.7	△ 27.3	↘ △ 60.0	→ △ 60.0
紙・加工品	△ 28.1	△ 24.0	△ 32.4	△ 23.3	↗ △ 6.9	↘ △ 10.3
印刷	△ 50.0	△ 37.5	△ 34.8	△ 52.2	↗ △ 42.3	→ △ 42.3
化学・ゴム	△ 6.5	4.1	△ 16.9	△ 12.8	↗ △ 7.1	↘ △ 12.5
窯業・土石	△ 29.2	△ 22.2	△ 25.5	△ 24.0	↗ △ 21.7	↘ △ 23.9
鉄鋼・非鉄	△ 48.1	△ 30.0	△ 37.1	△ 54.1	↗ △ 39.0	↘ △ 43.9
金属製品	△ 29.1	△ 12.4	△ 39.3	△ 30.5	↗ △ 23.7	↘ △ 28.0
一般・精密機器	△ 15.9	△ 4.4	△ 16.3	△ 17.3	↘ △ 28.0	↗ △ 20.0
電気機器	△ 21.9	△ 35.7	△ 29.3	△ 33.3	↗ △ 25.0	↗ △ 15.0
輸送機器	△ 17.1	6.7	△ 13.1	△ 14.3	↗ △ 5.8	↘ △ 21.7
卸・小売業	△ 24.1	△ 23.8	△ 30.3	△ 33.3	↗ △ 32.2	↗ △ 29.6
卸売業	△ 18.9	△ 20.9	△ 24.8	△ 30.4	↗ △ 22.0	↗ △ 20.7
小売業	△ 30.9	△ 27.8	△ 37.5	△ 37.6	↘ △ 46.3	↗ △ 42.1
建設業	△ 18.3	△ 21.2	△ 25.0	△ 18.3	↗ △ 10.8	↘ △ 16.9
建築業	△ 24.2	△ 31.0	△ 42.1	△ 30.6	↗ △ 13.9	→ △ 13.9
土木業	△ 11.1	△ 8.7	0.0	0.0	↘ △ 6.9	↘ △ 20.7
サービス業	△ 5.3	△ 9.6	△ 12.5	△ 13.9	↗ △ 10.7	↘ △ 12.6
物品賃貸業	△ 5.4	0.0	△ 9.5	△ 28.6	↗ △ 8.1	↗ △ 2.7
情報サービス業	△ 4.4	△ 10.4	△ 15.4	△ 10.9	↘ △ 14.8	↘ △ 16.7
広告業	△ 7.7	△ 28.6	△ 10.0	18.2	↘ 0.0	↘ △ 25.0

※ 売上D. I. は、前年同期と比べて売上が「増加」したとする企業割合から「減少」したとする企業割合を差し引いた値。

※ 一般・精密機器は、日本標準産業分類上のはん用機器、生産用機器、業務用機器を指す。

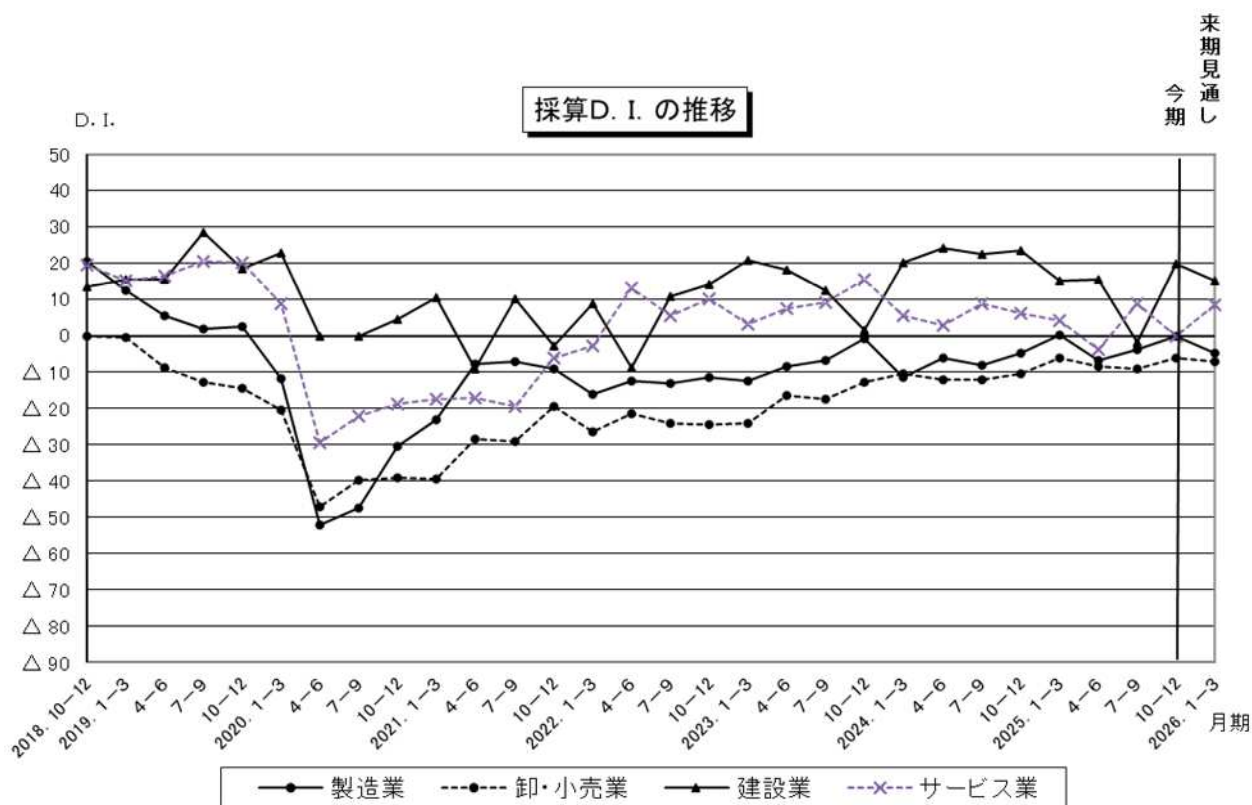


3 採算D. I.

業種	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6	2025 7-9	2025 10-12(今期)	2026 1-3(来期)
全産業	△ 3.3	△ 0.1	△ 5.6	△ 3.8	↗ △ 0.3	↘ △ 2.7
製造業	△ 4.9	0.2	△ 6.7	△ 3.9	↗ 0.0	↘ △ 4.7
食料品	7.3	1.7	21.3	17.5	↗ 25.0	↘ 3.8
繊維工業	△ 13.6	△ 21.1	△ 22.4	△ 14.3	↘ △ 32.3	↗ △ 20.6
木材・木製品	△ 22.2	△ 2.8	0.0	0.0	↗ 6.7	↘ △ 10.0
家具・装備品	△ 41.7	9.1	△ 16.7	△ 45.5	↗ △ 33.3	↗ △ 26.7
紙・加工品	3.1	4.0	△ 5.9	10.0	↗ 10.3	↘ △ 10.3
印刷	△ 26.9	△ 33.3	△ 21.7	△ 26.1	↘ △ 42.3	↗ △ 23.1
化学・ゴム	17.8	16.3	8.5	10.6	↘ 8.9	↘ 5.4
窯業・土石	△ 22.9	△ 8.9	0.0	△ 8.0	↗ 2.2	↘ △ 4.3
鉄鋼・非鉄	△ 7.4	0.0	△ 5.7	△ 24.3	↗ 2.4	↘ △ 9.8
金属製品	△ 12.8	0.0	△ 17.8	△ 12.6	↗ △ 2.5	↘ △ 11.0
一般・精密機器	25.0	4.5	△ 18.4	△ 13.5	↗ △ 4.0	↗ 4.0
電気機器	0.0	△ 3.6	△ 24.4	△ 9.5	↗ △ 5.0	↗ △ 2.6
輸送機器	4.3	18.7	6.0	22.1	↗ 26.1	↘ 17.4
卸・小売業	△ 10.3	△ 6.1	△ 8.4	△ 9.2	↗ △ 6.2	↘ △ 7.0
卸売業	7.1	5.2	2.7	1.4	↗ 11.3	↘ 8.7
小売業	△ 33.0	△ 21.6	△ 23.2	△ 24.8	↘ △ 30.6	↗ △ 29.0
建設業	23.7	15.4	15.6	△ 1.7	↗ 20.0	↘ 15.4
建築業	3.1	10.3	2.6	△ 11.1	↗ 19.4	↘ 13.9
土木業	48.1	21.7	34.6	12.5	↗ 20.7	↘ 17.2
サービス業	6.3	4.3	△ 3.8	9.0	↘ 0.0	↗ 8.7
物品賃貸業	13.5	18.8	△ 4.8	2.9	↗ 18.9	↗ 27.0
情報サービス業	6.7	△ 2.1	△ 3.8	10.9	↘ △ 17.0	↗ 1.9
広告業	△ 15.4	△ 7.1	0.0	20.0	↘ 18.2	↘ △ 16.7

※ 採算D. I. は、当期採算が「黒字」とする企業割合から「赤字」とする企業割合を差し引いた値。

※ 一般・精密機器は、日本標準産業分類上のはん用機器、生産用機器、業務用機器を指す。

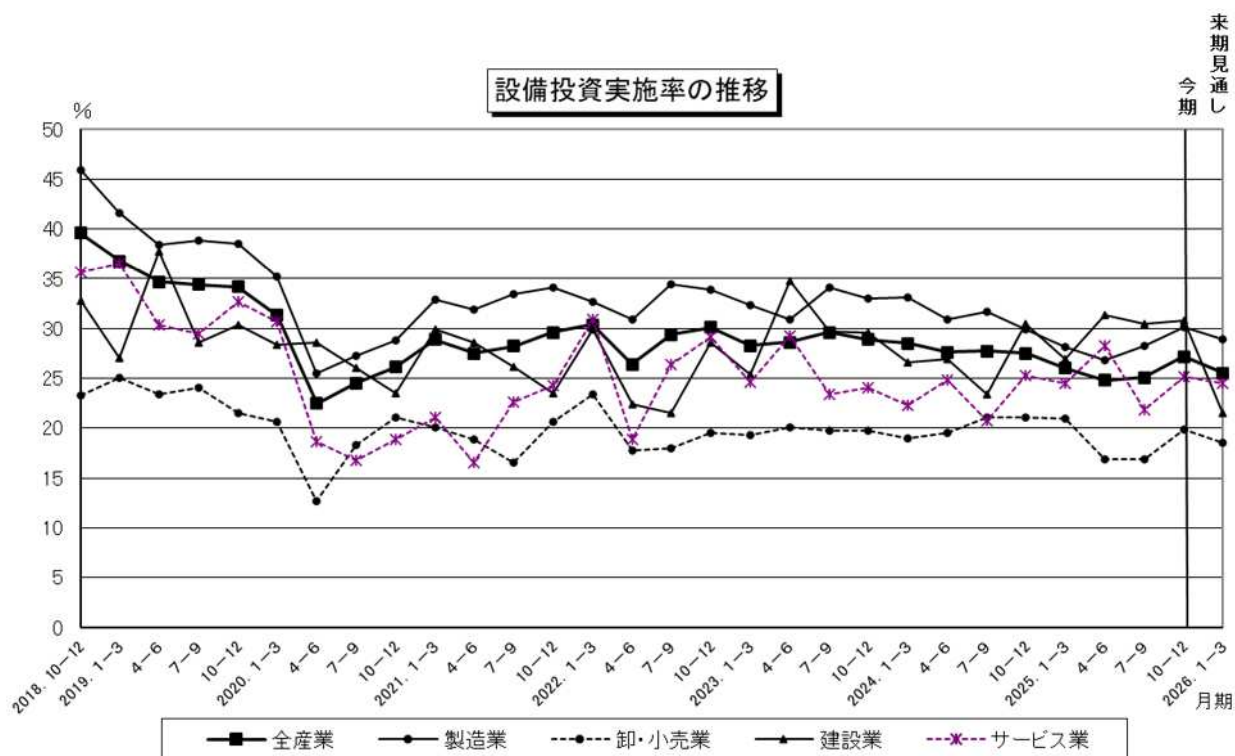


4 設備投資実施率

業種	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6	2025 7-9	2025 10-12(今期)	2026 1-3(来期)
全産業	27.5	26.0	24.8	25.1	↗	↘ 25.5
製造業	29.9	28.1	26.8	28.3	↗	↘ 28.9
食料品	47.3	36.2	44.3	38.6	↗	↘ 36.5
繊維工業	15.3	19.3	13.4	23.2	↘	↘ 15.9
木材・木製品	5.7	5.6	11.4	15.8	↗	↘ 16.7
家具・装備品	33.3	45.5	25.0	54.5	↘	↗ 26.7
紙・加工品	34.4	28.0	32.4	40.0	↘	↗ 37.9
印刷	19.2	20.8	17.4	8.7	↗	↗ 23.1
化学・ゴム	32.6	32.7	32.2	36.2	↘	↘ 26.8
窯業・土石	35.4	29.5	31.4	34.0	↗	↘ 30.4
鉄鋼・非鉄	37.0	30.0	20.0	27.0	↗	↗ 39.0
金属製品	27.8	27.5	26.9	22.7	↗	↗ 28.0
一般・精密機器	29.5	13.6	18.4	21.2	↘	↗ 16.3
電気機器	18.2	10.7	12.8	14.3	↗	↘ 20.0
輸送機器	42.9	50.7	39.3	42.9	↗	↘ 49.3
卸・小売業	21.1	21.0	16.9	16.9	↗	↘ 18.5
卸売業	21.3	19.4	16.1	17.6	↗	↘ 19.6
小売業	20.8	23.2	17.9	15.8	↗	↗ 17.0
建設業	30.5	26.9	31.3	30.5	↗	↘ 21.5
建築業	18.8	13.8	13.2	22.9	↗	↘ 13.9
土木業	44.4	43.5	57.7	41.7	↘	↘ 31.0
サービス業	25.3	24.5	28.2	21.8	↗	↘ 24.5
物品賃貸業	18.9	25.0	26.2	20.0	↗	↗ 32.4
情報サービス業	28.9	27.1	32.7	23.6	↗	↘ 22.2
広告業	30.8	14.3	11.1	18.2	↘	↗ 9.1

※ 設備投資実施率は、当期において設備投資を「行った」とする企業の割合。なお、来期については、設備投資計画が「ある」とする企業の割合。

※ 一般・精密機器は、日本標準産業分類上のはん用機器、生産用機器、業務用機器を指す。

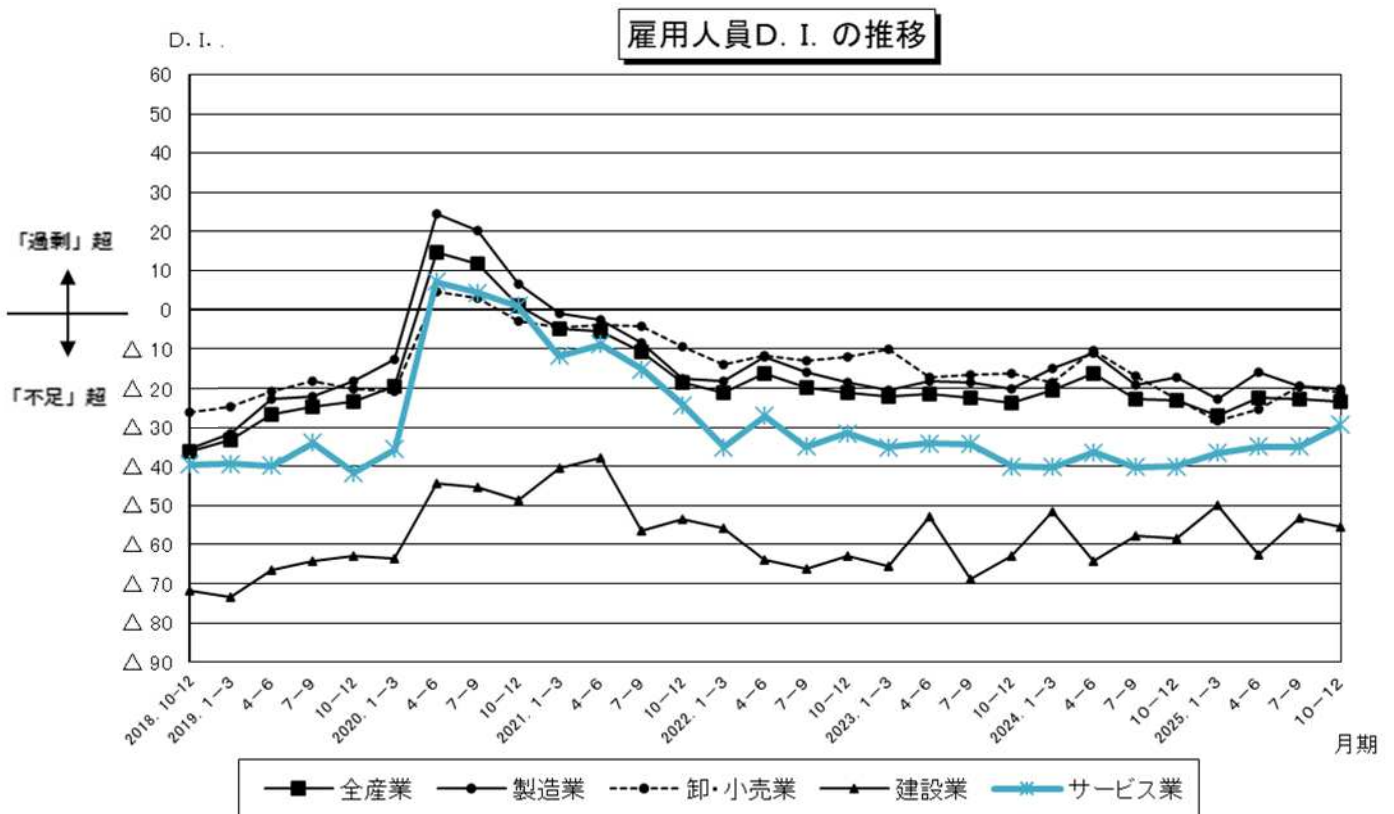


5 資金繰りD. I.

	業種	2024年10-12月期	2025年1-3月期	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期 (今期)	2026年1-3月期 (来期)
資金繰り D. I. 「好転」-「悪化」	全産業	△ 20.4	△ 19.3	△ 19.8	△ 20.2	△ 17.1	△ 20.3
	製造業	△ 19.2	△ 15.6	△ 17.3	△ 19.2	△ 14.5	△ 20.1
	卸・小売業	△ 26.8	△ 27.3	△ 27.2	△ 25.3	△ 23.3	△ 25.3
	建設業	△ 18.3	△ 26.9	△ 15.6	△ 16.7	△ 13.8	△ 16.9
	サービス業	△ 13.8	△ 19.1	△ 20.2	△ 16.8	△ 19.4	△ 11.7

6 雇用人員D. I.

	業種	2024年10-12月期	2025年1-3月期	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期 (今期)
雇用人員 D. I. 「過剰」-「不足」	全産業	△ 23.1	△ 26.9	△ 22.6	△ 22.9	△ 23.6
	製造業	△ 17.2	△ 22.9	△ 15.9	△ 19.7	△ 20.3
	卸・小売業	△ 22.9	△ 28.3	△ 25.5	△ 19.4	△ 21.3
	建設業	△ 58.3	△ 50.0	△ 62.5	△ 53.3	△ 55.4
	サービス業	△ 40.0	△ 36.6	△ 35.0	△ 35.0	△ 29.4



7 金融機関の貸出態度D. I.

貸出態度 D. I. 「緩い」-「厳しい」	業種	2024年10-12月期	2025年1-3月期	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期 (今期)
	全産業	0.7	△ 1.0	△ 1.4	△ 2.2	△ 2.0
	製造業	0.5	0.7	△ 1.4	△ 2.3	△ 0.2
	卸・小売業	△ 2.4	△ 5.4	△ 4.0	△ 5.1	△ 7.3
	建設業	11.7	11.5	7.8	10.0	6.3
	サービス業	2.4	△ 8.2	△ 1.0	△ 2.1	△ 5.1

8 価格の動向

(1) 販売価格D. I.

販売価格 D. I. 「上昇」-「低下」	業種	2024年10-12月期	2025年1-3月期	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期 (今期)
	製造業	25.3	27.2	27.1	23.8	20.5
	卸・小売業	42.6	49.4	44.4	41.8	36.0
	サービス業	3.2	4.3	△ 7.8	△ 5.0	△ 9.9

(2) 仕入価格等D. I.

仕入価格等 「上昇」-「低下」	業種	2024年10-12月期	2025年1-3月期	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期 (今期)
主要原材料 価格D. I.	製造業	71.6	71.7	69.8	66.0	65.8
仕入価格 D. I.	卸・小売業	81.2	86.1	75.1	81.9	76.2
主要資材 価格D. I.	建設業	81.7	78.8	81.3	75.0	84.4

9 設備稼動状況D. I.

設備稼動 状況D. I. 「上昇」-「低下」	業種	2024年10-12月期	2025年1-3月期	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期 (今期)
	製造業	△ 23.7	△ 18.4	△ 20.4	△ 20.1	△ 20.8

10 顧客（受注先）数D. I.

顧客数 D. I. 「増加」―「減少」	業種	2024年10-12月期	2025年1-3月期	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期 (今期)
	サービス業	△ 12.5	△ 11.8	△ 17.6	△ 13.0	△ 8.8

11 在庫水準D. I.

在庫水準 D. I. 「過剰」―「不足」	業種	2024年10-12月期	2025年1-3月期	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期 (今期)
	製造業	10.1	7.2	6.6	7.5	5.6
	卸・小売業	9.4	9.1	8.8	11.6	4.3

12 経営上の問題点

＜調査方法＞以下の項目から、2つまで選択。

【製造業】

- ・売上の不振
- ・原材料高
- ・金融費用の増加
- ・資金繰り難
- ・人手不足
- ・人件費の増加
- ・製品安・値下げの要請
- ・エネルギー費用の増加
- ・その他

【卸・小売業】

- ・売上の不振
- ・仕入価格の上昇
- ・金融費用の増加
- ・資金繰り難
- ・人手不足
- ・人件費の増加
- ・大型店・新業態の小売店進出
- ・店舗の狭小老朽化
- ・その他

【建設業】

- ・受注の不振
- ・資材高
- ・金融費用の増加
- ・資金繰り難
- ・人手不足
- ・人件費の増加
- ・受注単価引き下げ要請
- ・その他

【サービス業】

- ・売上の不振
- ・外注コスト増
- ・金融費用の増加
- ・資金繰り難
- ・人手不足
- ・人件費の増加
- ・受注単価引き下げ要請
- ・新規参入増
- ・その他

業種	順位	2025年4-6月期(前々期)		2025年7-9月期(前期)		2025年10-12月期(今期)	
製造業	1位	原材料高	50.4%	原材料高	43.0%	原材料高	41.5%
	2位	売上の不振	43.1%	売上の不振	42.7%	売上の不振	40.4%
	3位	人件費の増加	38.7%	人件費の増加	36.1%	人件費の増加	33.4%
卸・小売業	1位	仕入価格の上昇	53.1%	仕入価格の上昇	50.8%	仕入価格の上昇	50.6%
	2位	売上の不振	49.6%	売上の不振	48.8%	売上の不振	47.5%
	3位	人件費の増加	29.5%	人件費の増加	31.5%	人件費の増加	28.0%
建設業	1位	資材高	60.9%	資材高	55.0%	人手不足	53.8%
	2位	人手不足	48.4%	人手不足	46.7%	資材高	46.2%
	3位	受注の不振	34.4%	受注の不振	36.7%	受注の不振	29.2%
サービス業	1位	売上の不振	44.4%	人件費の増加	43.3%	売上の不振	39.6%
	2位	人件費の増加	40.4%	人手不足	38.1%	人件費の増加	36.6%
	3位	人手不足	34.3%	売上の不振	36.1%	人手不足	27.7%

※ 本調査は9つの項目から2つまでを選択する設問のため、回答の合計は100%を超える。

13 行政が今後強化すべき支援策

＜調査方法＞ 以下の項目から、3つまで選択。

- ・金融支援
- ・経営指導・相談
- ・技術開発・指導
- ・下請適正取引の推進
- ・省エネ支援
- ・雇用維持支援
- ・人材確保支援
- ・人材育成支援
- ・その他

業種	順位	2025年4-6月期(前々期)		2025年7-9月期(前期)		2025年10-12月期(今期)	
全産業	1位	金融支援	40.6%	金融支援	39.1%	金融支援	41.0%
	2位	雇用維持支援	39.9%	人材確保支援	37.4%	雇用維持支援	38.7%
	3位	人材確保支援	39.4%	雇用維持支援	35.3%	人材確保支援	35.3%
	1位	雇用維持支援	41.2%	金融支援	35.8%	雇用維持支援	38.5%
	2位	人材確保支援	39.2%	雇用維持支援 人材確保支援	35.2% 35.2%	金融支援	34.8%
	3位	金融支援	37.0%	下請適正取引の推進	35.0%	下請適正取引の推進	34.4%
	1位	金融支援	54.9%	金融支援	48.5%	金融支援	58.4%
	2位	雇用維持支援	35.8%	人材確保支援	35.5%	雇用維持支援	33.1%
	3位	人材確保支援	33.7%	雇用維持支援	32.5%	人材確保支援	30.6%
建設業	1位	人材確保支援	54.7%	人材確保支援	60.3%	人材確保支援	60.9%
	2位	金融支援	40.6%	雇用維持支援	43.1%	雇用維持支援	53.1%
	3位	雇用維持支援	37.5%	金融支援	39.7%	金融支援	39.1%
サービス業	1位	人材確保支援	45.3%	人材確保支援	43.2%	雇用維持支援	44.4%
	2位	雇用維持支援	43.2%	金融支援 雇用維持支援	37.9% 37.9%	金融支援 人材確保支援	37.4% 37.4%
	3位	金融支援	29.5%	下請適正取引の推進	26.3%	下請適正取引の推進	25.3%

※ 本調査は9つの項目から3つまでを選択する設問のため、回答の合計は100%を超える。

【トピックス調査】

＜価格転嫁の状況＞

（１）価格転嫁の状況についてお尋ねします。

業種	価格転嫁の状況					
	全くできていない (2割未満)	2割以上5割未満	5割以上8割未満	8割以上	分からない	価格転嫁の 必要がない
全産業	16.7%	20.5%	24.2%	21.7%	10.6%	6.3%
	(16.7%)	(22.5%)	(26.1%)	(21.3%)	(8.0%)	(5.4%)
	16.5%	21.6%	27.7%	22.3%	7.6%	4.3%
	(15.6%)	(25.7%)	(28.6%)	(20.2%)	(6.2%)	(3.7%)
	14.5%	18.1%	22.5%	23.7%	14.8%	6.4%
	(12.9%)	(14.9%)	(29.5%)	(26.1%)	(9.5%)	(7.1%)
	15.9%	15.9%	15.9%	28.6%	22.1%	1.6%
	(22.0%)	(20.3%)	(11.9%)	(30.5%)	(13.6%)	(1.7%)
	24.0%	22.0%	12.0%	9.0%	12.0%	21.0%
	(29.9%)	(21.6%)	(9.3%)	(10.3%)	(14.5%)	(14.4%)

※カッコ内は前回調査実施時点（2025年7月～9月期）

（２）価格転嫁が進まない理由として最もあてはまるものは何ですか。

業種		価格転嫁が進まない理由					
		取引への悪影響を 恐れて価格交渉の 申し出が できなかった	取引先へ価格交渉 を申し出たが、交渉 自体に応じてもらえ なかった	取引先と価格交渉 を行ったが、 満足のいく結果に ならなかった	取引先との交渉 方法がわからない	消費者から 理解が得られ難い	その他
全産業		30.1%	9.4%	38.7%	2.3%	17.5%	2.0%
	製造業	32.4%	10.5%	45.4%	1.3%	7.6%	2.8%
	卸・小売業	15.7%	7.9%	24.7%	4.5%	47.2%	0.0%
	建設業	36.4%	4.5%	31.8%	4.5%	18.2%	4.6%
	サービス業	43.4%	8.7%	34.8%	2.2%	10.9%	0.0%

<テレワークの導入意向>
1 テレワークの導入状況

業種	テレワーク導入状況					
	今回調査			前回(2024年10-12月期)調査		
	導入済み	今後、導入したい	導入の予定なし	導入済み	今後、導入したい	導入の予定なし
全産業	18.1%	3.3%	78.6%	17.5%	4.2%	78.3%
製造業	14.9%	2.4%	82.7%	14.6%	3.8%	81.6%
卸・小売業	17.7%	4.5%	77.8%	16.2%	4.4%	79.4%
建設業	13.6%	1.7%	84.7%	15.9%	7.9%	76.2%
サービス業	41.0%	7.0%	52.0%	36.2%	3.8%	60.0%

2 テレワークの導入予定が無い場合、その理由

業種		順位	テレワークの導入について、「予定なし」と回答した理由	
全産業		1位	対象業務が限定的	57.5%
		2位	適正な労務管理	18.9%
		3位	導入効果	17.3%
	製造業	1位	対象業務が限定的	61.4%
		2位	適正な労務管理	18.8%
		3位	導入効果	14.9%
	卸・小売業	1位	対象業務が限定的	47.7%
		2位	社員間のコミュニケーション	20.5%
		3位	適正な労務管理	18.9%
	建設業	1位	対象業務が限定的	64.1%
		2位	導入効果	25.6%
		3位	適正な労務管理	23.1%
	サービス業	1位	対象業務が限定的	46.8%
		2位	情報セキュリティの確保	36.2%
		3位	適正な労務管理	17.0%
			導入効果	
導入・運用コスト				

<調査方法>以下の項目から 3 つまで選択。

- ・ 情報セキュリティの確保

・ 適正な人事評価

・ 導入効果
- ・ 社員間のコミュニケーション

・ 対象業務が限定的

・ 導入・運用コスト
- ・ 適正な労務管理

・ テレワークに対応した労務管理

・ その他

〔調査の概要〕

- 1 調査時期 2025 年 12 月 1 日から 12 月 10 日まで
- 2 調査対象期間 実績 ----- 2025 年 10～12 月期
見通し ----- 2026 年 1～3 月期

3 調査内容

- 業況判断、売上、資金繰り、販売価格、主要原材料価格、仕入価格、主要資材価格、設備の稼動状況、顧客数及び在庫水準については、前年同期との比較。
- 採算、設備投資、雇用人員及び金融機関の貸出態度については、当期の実績。

4 指数化の方法

D. I. : 業況判断指数 (ディフュージョン・インデックス)

業況判断 D. I. ----- 前年同期と比べて総合的な景況判断が「好転」したとする企業の割合から、「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値。

売上 D. I. ----- 前年同期と比べて売上が「増加」したとする企業の割合から、「減少」したとする企業の割合を差し引いた値。

採算 D. I. ----- 当期採算が「黒字」とする企業の割合から、「赤字」とする企業の割合を差し引いた値。

設備投資実施率 ----- 当期において設備投資を「行った」とする企業の割合。

資金繰り D. I. ----- 前年同期と比べて資金繰りが「好転」したとする企業の割合から、「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値。

雇用人員 D. I. ----- 当期において雇用人員が「過剰」であるとする企業の割合から、「不足」であるとする企業の割合を差し引いた値。

金融機関の貸出態度 D. I. --- 当期において金融機関の貸出態度が「緩い」とする企業の割合から、「厳しい」とする企業の割合を差し引いた値。

販売価格 D. I.
 主要原材料価格 D. I.
 仕入価格 D. I.
 主要資材価格 D. I.
 設備の稼動状況 D. I. ----- 前年同期と比べて販売価格、主要原材料価格、仕入価格、主要資材価格、設備の稼動状況が「上昇」したとする企業の割合から、「低下」したとする企業の割合を差し引いた値。

顧客数 D. I. ----- 前年同期と比べて顧客数が「増加」したとする企業の割合から、「減少」したとする企業の割合を差し引いた値。

在庫水準 D. I. ----- 前年同期と比べて在庫水準が「過剰」であるとする企業の割合から、「不足」であるとする企業の割合を差し引いた値。

(注) ・各指数の表示の合計は、端数により 100% とならない場合がある。

・業種によっては、サンプル数が少ないことから、結果に偏りが生じる可能性があることに留意する必要あり。

5 対象企業

以下の基準に該当する愛知県に本社を置く企業から無作為抽出。

- 製造業・建設業 -- 資本金 3 億円以下又は従業員 300 人以下
- 卸売業 ----- 資本金 1 億円以下又は従業員 100 人以下
- 小売業 ----- 資本金 5 千万円以下又は従業員 50 人以下
- サービス業 ----- 資本金 5 千万円以下又は従業員 100 人以下

6 調査回答状況

区分	全産業	製造業	卸・小売業	建設業	サービス業
標本企業数	2,000社	1,230社	470社	100社	200社
回答企業数	1,061社	635社	258社	65社	103社
回答率	53.1%	51.6%	54.9%	65.0%	51.5%
(前回)	53.7%	53.9%	53.0%	60.0%	50.5%

本資料は、産業政策課の Web ページ(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sangyo-seisaku/keikyo.html>)で御覧いただけます。